

# 令和5年度第4回 朝霞市都市計画審議会 次第

日時 令和6年2月14日（水曜日）

午後3時から5時（予定）

場所 中央公民館・コミュニティセンター 1階  
第1、2集会室

## 1 開 会

## 2 挨 拶

## 3 議 題

- ・議案第1号 朝霞市都市計画マスタープランの策定について
- ・議案第2号 朝霞市生産緑地地区の追加指定基準の改正について（意見聴取）

## 4 その他

- ・報告事項第1号 市内循環バスの運行について
- ・報告事項第2号 朝霞市マンション管理適正化推進計画及び朝霞市空家等対策計画(案)の策定について
- ・報告事項第3号 歩行者利便増進道路（ほこみち）の指定について

## 5 閉 会

## 議案第 1 号

朝霞市都市計画マスタープランの策定について

令和 5 年度第 4 回朝霞市都市計画審議会

## 朝霞市都市計画マスタープランの策定について

①前回都市計画審議会での意見	…P 1
②都市計画マスタープラン策定の目的	…P 3
③今後のスケジュール	…P 10
④総合計画との連携方法	…P 12
⑤地域区分の考え方	…P 14
⑥合意形成プロセス	…P 20

令和6(2024)年2月14日(水)

### 都市計画審議会での意見

## ■都市計画審議会での意見

---

### ○開催概要

名 称： 令和5年度第3回朝霞市都市計画審議会

日 時： 令和5年11月29日(水)15:00~17:15

### ○都市計画審議会における「都市計画マスタープラン」に対する主な意見

- 都計審のメンバーの任期が今年度末となるため、来年度の新メンバーに対するフォローを行うこと。
- 都計審のメンバーに福祉や公共交通等の関係者に入ってもらうなど、幅広く意見を取り込んでいく工夫を考える必要があるのではないか。
- 市民意見の把握に向けては、市の現状や今後の見通しに関するデータを示したうえで、意見をもらう必要がある。
- 総合計画と連携してアンケートを実施しているとのことだが、実施前の共有がなく、市民意向を把握できる内容になっているか議論ができていない。
- 総合計画と並行して都市マスが検討されているため、総合計画との連携を強化すること。
- 市民意向の把握は丁寧にやってもらいたい。アンケートやワークショップだけでなく、市民が自由に意見を述べられる場を設けてほしい。
- 市民参加について、一般化された「市民」ではなく、「市民委員会」という形で立ち上げてほしい。

## 都市計画マスタープラン策定の目的

## ■都市計画マスタープラン策定の目的

### 【都市計画マスタープランとは】

- 都市計画マスタープランは、市町村における具体の都市計画の基本的な方向性を示すものであり、制度創設時の要点である「市民意見の反映」をふまえ、これまでの行政主導型の都市計画から市民参加のまちづくりに重点を置いて、市民の参加と理解のもとにまちづくりの将来ビジョンを確立するものです。
- このため、本市では、市民の意見を反映しながら、地域特性に応じた土地利用や都市施設などの根拠となる将来都市像を明らかにし、その実現に向けて、本市の定める各種の都市計画についての基本的な指針となり、また個々の都市計画の相互連携の指針となるものを定めてきました。

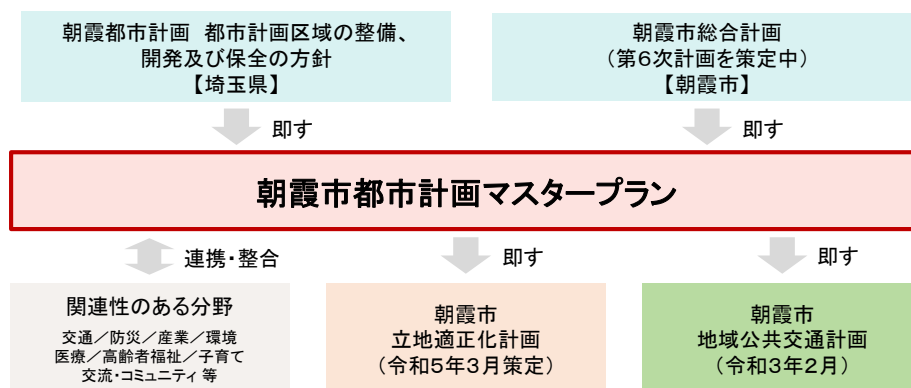
### 【朝霞市都市計画マスタープランの変遷】

- 朝霞市都市計画マスタープランは、平成17年3月に当初計画(目標年次:令和7年(平成37年))を策定し、計画期間の中間年次となる10年後に、社会・経済状況、市民ニーズの変化などをふまえた見直しを行ってきました。

4

## ■都市計画マスタープラン策定の目的

### 【都市計画マスタープランの位置づけ】

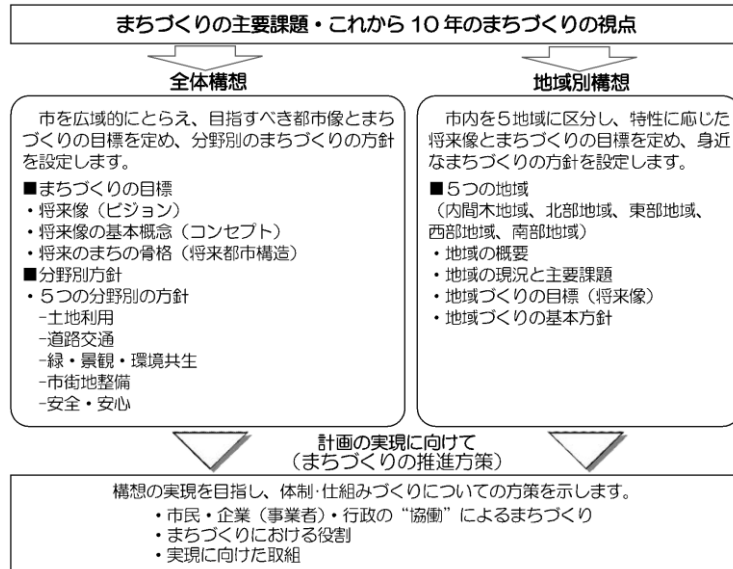


5

## ■都市計画マスタープラン策定の目的

### 【都市計画マスタープランの構成】

○現行計画の構成



6

## ■都市計画マスタープラン策定の目的

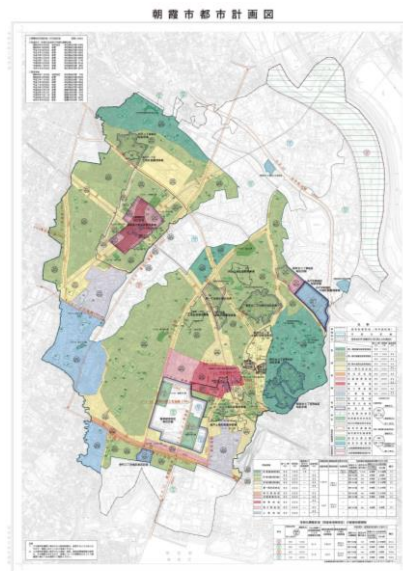
### 【都市計画マスタープラン(次期計画)の計画期間、対象区域】

○計画期間

令和7年(2025年)から  
令和27年(2045年)の20年間

○対象区域

朝霞市の都市計画区域  
(市街化区域 + 市街化調整区域)



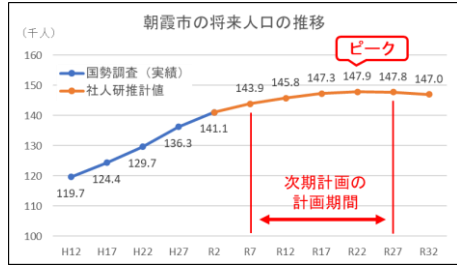
7

## ■都市計画マスタープラン策定の目的

(参考)今後20年間に起こりうる変化や求められること

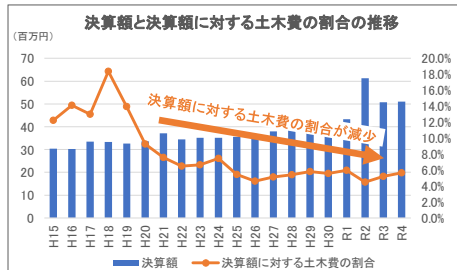
○現在起こっている変化

- 朝霞市の高齢化が進行(R2高齢化率:約20%)
- コロナウイルス感染症を契機としたリモートワークの進展等、仕事のあり方の変化
- 気候変動による水災害等の自然災害の激甚化・頻発化、自然災害(地震・水災害等)に対する意識の変化
- 管理不全の民間建築物の増加
- 車中心から人中心へのウォークアブルなまちづくりに向けた取組の進展 等



○今後20年間に起こりうる変化

- 朝霞市の人口が令和22年(2040年)をピークに人口減少に転じる
- 自動運転やAIなど新技術の発展による生活や仕事、移動のあり方の変化
- 社会保障経費の増加やインフラを含む公共施設の老朽化に伴う施設更新・改修費の増加
- 住宅の供給過多による空き家の増加
- 民間建築物の老朽化等の管理不全に伴う地域環境の悪化

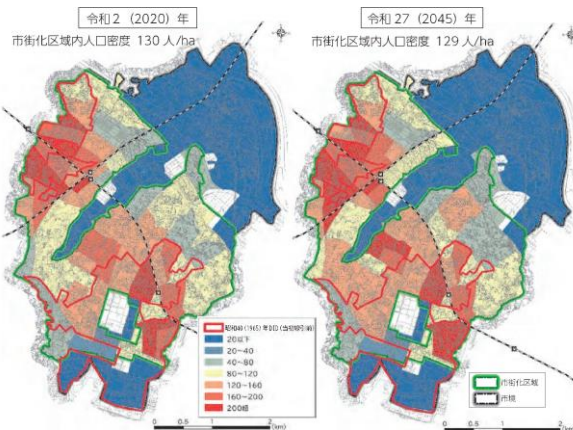


8

## ■都市計画マスタープラン策定の目的

(参考)今後20年間の人口密度の変化

- 市街化区域内人口密度は、令和27年(2045年)においても、高い人口密度を維持するものと見込まれます。



出典: 国勢調査。将来推計は「将来人口・世帯予測ツールV2 (H27 (2015) 国調対応版)」(国土技術政策総合研究所)を用いた小地域毎の推計値

(参考)都市構造上の課題

- 市街化区域内の人口集積を高めながら、生活サービス・交通利便性を維持・確保するとともに、高齢化や低炭素化、都市の緑や農地の保全への対応が必要
- 駅周辺の拠点となる地域において、公共機能のほか、不足する商業機能や業務、文化・交流機能など、拠点性を高めるための都市機能の立地を中長期的に誘導しながら、交通施策と連携したコンパクト・プラス・ネットワークの実現が必要

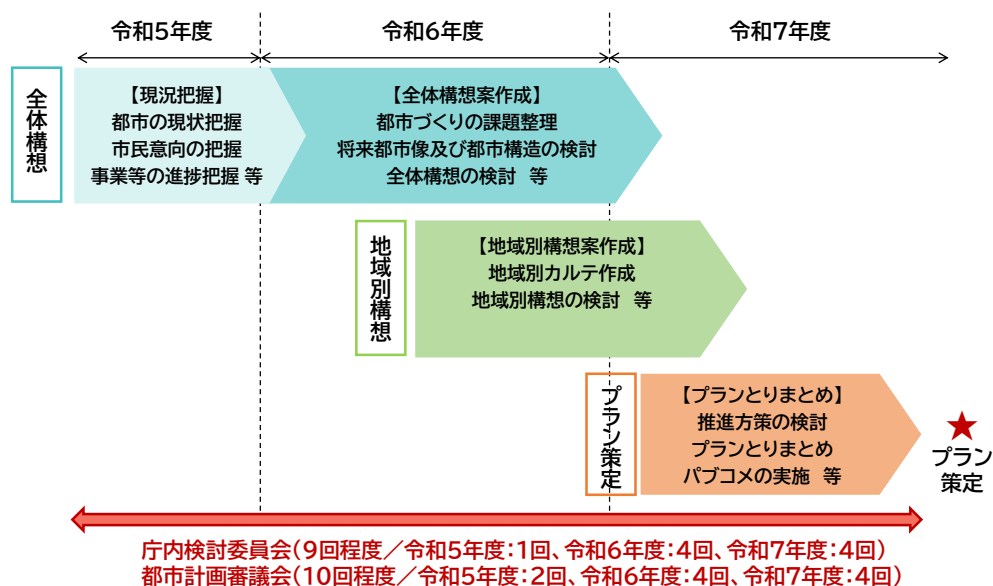
(出典: 朝霞市立地適正化計画)

9

# 都市計画マスタープラン策定のスケジュール

## ■都市計画マスタープラン策定のスケジュール

詳細スケジュール  
は別紙参照





## 総合計画との連携方法

### ■総合計画との連携方法

項目	説明
委員会や都計審の資料	<ul style="list-style-type: none"><li>● 両計画の策定に向けた委員会や都市計画審議会等の会議資料やその結果を共有する。</li></ul>
市民意向の把握	<ul style="list-style-type: none"><li>● 今後実施する市民意向を把握する取組(アンケートやワークショップ等)に関しては、企画の段階から連携を行い、実施結果を共有する。</li><li>● アンケートについては詳細分析が行えるよう、ローデータを共有する。 (参考)今後実施する市民意向把握の取組<ul style="list-style-type: none"><li>・分野別市民懇談会</li><li>・青少年の意見聴取</li><li>・市民意見交換会</li><li>・キーパーソン・ミーティング 等</li></ul></li></ul>
アウトプット	<ul style="list-style-type: none"><li>● 担当部局及び委託事業者を交え、随時打合せ等を行い、まちづくりの将来像やテーマのすり合わせを行う。</li></ul>

# 地域区分の考え方

## ■地域区分について

【都市計画運用指針】より

### 【地域区分の必要性】

- (市町村)都市計画マスタープランはまちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地区別のあるべき市街地像を示すとともに、**地域別の整備課題に応じた**整備方針、地域の都市生活、経済活動等を支える諸施設の計画等をきめ細かくかつ総合的に定めることが望ましい。
- 地域別構想では、全体構想に示された整備の方針等を受け、**地域の特性・課題に応じた**土地利用や施設の整備等の方針を明らかにすることが望ましい。

### 【地域区分の設定にあたっての考え方】

- 地形等の自然的条件
  - 土地利用の状況
  - 幹線道路等の交通軸
  - 日常生活上の交流の範囲
  - 区域区分 等
- を考慮し、各地域像を描き施策を位置付ける上で適切な**まとまりのある空間の範囲**とすることが望ましい。

## ■地域区分の考え方

### 【現行計画における地域区分に関する考え方】

- 地域ごとに居住人口バランスや、将来のまちづくり構想を考へるにあたり、地域拠点や交通軸などの要素が特定の地域に極端に偏らないこと。
- 地域区分の検討要素：
  - ①行政サービスの単位と区分
  - ②地域等による構造的な区分
  - ③歴史的に継続している地域的つながりによる区分
  - ④都市計画的施策として一体的にとらえる区分

「都市計画運用指針」で示す考え方との整合は図られている



### 【現行計画における地域区分の設定】

《その1》  
本市を横断的に分断する要素と本市全体の土地利用特性をふまえ、まず東武東上線により北東・南西の2つに区分



《その2》  
2つに分けた地域のうち、北東側を地形的分断要素である新河岸川で区分。内間木地域は、今後の土地利用動向もふまえ1地域とする



《その3》  
内間木地域を除いた残りの範囲については、本市の大きな地形的分断要素である黒目川により、更に区分し、本市全体を5つの地域に区分



16

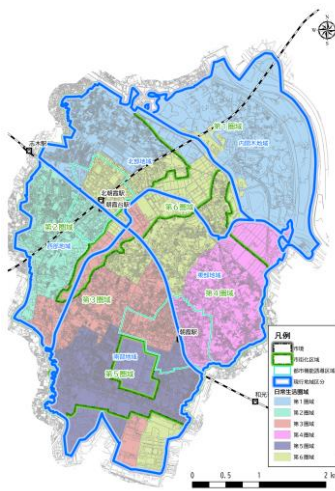
## ■地域区分の考え方

### 【他の既存区域と重ねて検討】

【標高図×現行計画における地域区分】



【日常生活圏域×現行計画における地域区分】



- 現行計画における地域区分は、地形的な区分と概ね一致
- 現行計画における地域区分は、日常生活圏域と一部一致  
※日常生活圏域は地域包括支援センターの立地により区域の範囲が変動する可能性がある

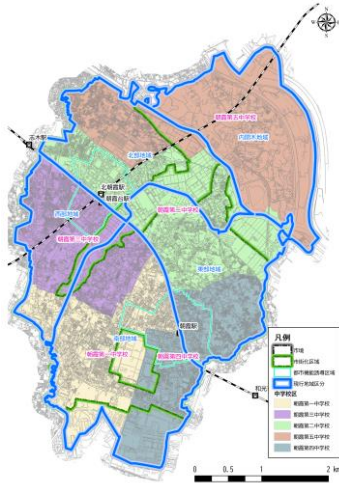
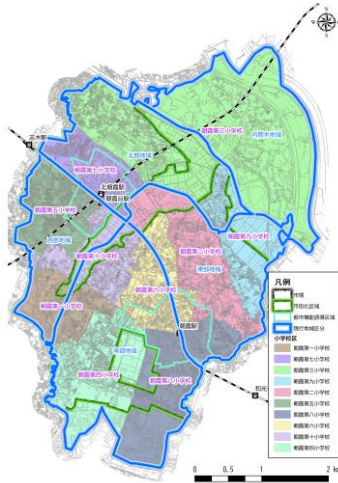
17

## ■地域区分の考え方

### 【他の既存区域と重ねて検討】

【小学校区×現行計画における地域区分】

【中学校区×現行計画における地域区分】



- 現行計画における地域区分は、小・中学校区の境界線と一致していない
- 小・中学校区は境界線が地形的な区分等への考慮が少ない  
※小・中学校区の範囲は学校の立地や生徒数の変化により、変動する可能性がある

18

## ■地域区分の考え方

### 【計画の改定にあたり、地域区分に関する考え方】

#### 【日常生活圏域】

- ・ 高齢者人口の分布、地域包括支援センターの立地及びサービス能力により設定  
⇒ 高齢化の進展により地域包括支援センターへの需要が高まるにつれ、**将来的に区域が細分化する可能性がある**

#### 【小・中学校区】

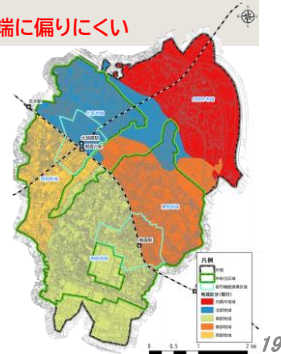
- ・ 生徒数の状況や学校の立地状況により設定  
⇒ 生徒数の減少による学校の再編や就学範囲の見直し等により、**将来的に変更の可能性がある**

#### 【現行計画における地域区分】

- ・ 「都市計画運用指針」で示される考え方と整合  
⇒ **法的な根拠あり**
- ・ 主に鉄道、河川で設定  
⇒ 地形地物が境界線となり、**将来的に変更の可能性が低い**
- ・ 地域ごとの居住人口バランスがあり、地域拠点や交通軸へ考慮  
⇒ **特定の地域に極端に偏りにくい**

現行計画における地域区分は**妥当**であるため、次期都市計画マスタープランにおいてもこの地域区分を踏襲したい

なお、駅周辺の拠点地区(都市機能誘導区域)に関しては、都市構造上都市全体の中心的な拠点として機能強化や商業施設の立地誘導を図る区域であることから、当該地区に関する方針等の位置づけは地域別構想で検討するのではなく、**全体構想にて「拠点地区」と別枠で検討すべき**



19

# 都市計画マスタープランの策定段階に応じた 合意形成プロセス

## ■合意形成の目的

---

### 【合意形成とは】

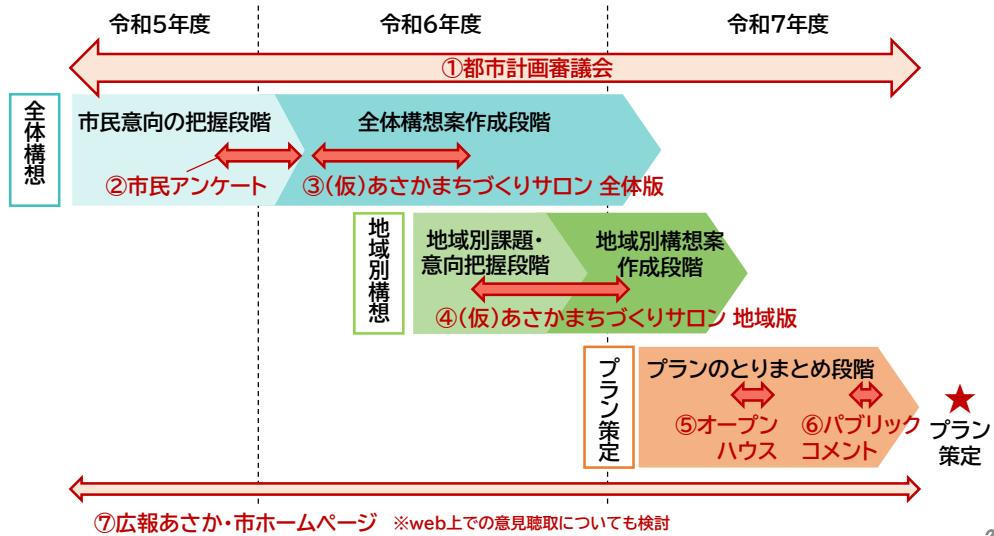
合意形成とは、単に関係者の意見を一致させることではない、と考えます。多様な意見を適切に踏まえ、創造的な意見交換によって課題の解決や理解の共有を図る、コミュニケーションのプロセスです。そのため、一方通行の説明ではなく、双方向のやりとりがなされることが求められます。

### 【朝霞市都市計画マスタープランにおける合意形成の目的】

- 第一の目的は、プランを策定していく各段階において、市民の皆さまのご意見を反映していくことです。
- それだけではなく、第二の目的として、都市計画マスタープランやまちづくりに興味を持ち、都市計画マスタープランの策定後もまちづくりに関わり続ける市民の裾野を拡げていくことも目的とします。

## ■合意形成の全体プロセスと手法

朝霞市都市計画マスタープランでは、以下のように策定の段階に応じた手法を組み合わせることで合意形成を図っていきます。



22

## ■現行都市計画マスタープラン策定時の合意形成との比較

現行都市計画マスタープランを策定した際に実施した合意形成よりもさらに重層的かつ多様な手法を用いて、丁寧な合意形成を行います。

現行都市マス策定時の合意形成 (H14～16)	今回都市マス策定時の合意形成 (R5～7)	総合計画との連携ポイントや合意形成の工夫点
まちづくり委員会 (全10回) 都市計画審議会	①都市計画審議会 (全10回程度)	各地域代表者にも臨時委員として参加していただくことで、地域ごとの住民意見を反映できる体制とする。
市民アンケート 配布数：3,000部	②市民アンケート 総合計画実施のアンケート：3,000部 都市マス実施のアンケート：3,000部	左記に加え、広報やホームページからweb上でどなたでも回答できるようにする。総合計画で実施するアンケートも都市マスの市民意向把握に活用する。
— (全体でのワークショップは実施していない)	③(仮)あさかまちづくりサロン 全体版 (3回程度)	総合計画の策定に伴い実施する分業別懇談会や青少年意見聴取とも連携した企画とする。
地域別ワークショップ (5地域) 全体活動に加えてリーダー会、連絡調整会議、勉強会など	④(仮)あさかまちづくりサロン 地域版 (5地域) ワークショップ各地域4回程度 + 各地域での自発的な活動は市が積極的にサポート	多様な世代の、できるだけ多くの方に参加いただけるよう、継続して参加いただけるよう呼びかけながら、どの回からでも参加しやすいよう運営する。
素案の説明会	⑤オープンハウス ⑥パブリックコメント	説明動画を作成し、youtube等で公開する。イベント時にブースを設けるなどして周知を図る。
広報あさか・ホームページでの策定経過のお知らせ	⑦広報あさか・市ホームページを活用した策定経過報告や意見募集	web上での意見聴取についても検討する。

23

## ■合意形成の手段

### 【①都市計画審議会】

項目	説明
目的	・都市計画法の規定にもとづき、都市計画に関する事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する。
実施内容	【実施回数】R5年度2回 R6年度4回 R7年度4回 合計10回程度
工夫点	・各地域代表者にも臨時委員として参加していただくことで、地域ごとの住民意見を反映できる体制とする。 ・必要に応じて勉強会を開催する。 ・必要に応じて都市計画マスタープランに議題を絞った都市計画審議会を開催する。

※都市計画審議会とは別に庁内検討委員会にも学識経験者等の専門家や事業者を呼ぶことを検討する

24

## ■合意形成の手段

### 【②市民アンケート】

項目	説明
目的	・市民生活に寄り添った都市マスとするため、市民の日常生活における行動などを丁寧に把握することを目的とする。 ※まちづくりの課題やこれまでのまちづくり施策に対する評価等は、総合計画策定時の市民意識調査で把握される予定であり、総合計画のアンケートと重複しないよう留意する。
実施内容	【実施時期】R5年3月～5月頃を予定 【配布部数】18歳以上の市民3,000人(無作為抽出) 【設問内容】別紙のとおり
総合計画との連携	・総合計画策定にあたり「市民意識調査」「青少年アンケート」「子育て世帯、転入・転出世帯の意識調査」が行われていることから、これらの調査結果は都市マスの検討にも積極的に活用する
工夫点	・地域区分を考慮して3,000人に配布。紙での回答だけでなくwebからも回答できるようにする。 ・上記に加え、多くの方にご回答いただくため、広報及びホームページで周知したうえ、どなたでもwebから回答できるようにする。 ・市政モニターアンケート結果についても分析する。

25

## ■合意形成の手段

### 【③(仮)あさかまちづくりサロン 全体版】

項目	説明												
目的	・全体構想検討の初期段階において、1回ごとに完結する内容のワークショップを複数回実施し、朝霞市のまちづくりの方向性や将来像の検討に反映するとともに、都市マスへの関心を高めることを目的とする。												
実施内容	<p>【実施時期】R6年度前半</p> <p>【実施回数】3回程度(総合計画の分野別市民懇談会や青少年意見聴取との連携も検討)</p> <p>【内容】回ごとにテーマを設け、テーマに応じてターゲットを設定。(下表は例示)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマの例</th> <th>ターゲットの例</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「私が大人になったとき」</td> <td>高校生(朝霞高・朝霞西高)</td> <td>自分達が大人になった10年後、どんなまちになってほしいか等を議論</td> </tr> <tr> <td>「朝霞に住み続けるために」</td> <td>朝霞市民だれでも</td> <td>朝霞をもっと好きになる、住み続けるためにどんなことが必要か等を議論</td> </tr> <tr> <td>「朝霞の駅に必要なこと」</td> <td>朝霞市民だれでも</td> <td>市内の両駅に対して、駅前に望むことやそれに対して市民がどう関われるか等を議論</td> </tr> </tbody> </table>	テーマの例	ターゲットの例	概要	「私が大人になったとき」	高校生(朝霞高・朝霞西高)	自分達が大人になった10年後、どんなまちになってほしいか等を議論	「朝霞に住み続けるために」	朝霞市民だれでも	朝霞をもっと好きになる、住み続けるためにどんなことが必要か等を議論	「朝霞の駅に必要なこと」	朝霞市民だれでも	市内の両駅に対して、駅前に望むことやそれに対して市民がどう関われるか等を議論
テーマの例	ターゲットの例	概要											
「私が大人になったとき」	高校生(朝霞高・朝霞西高)	自分達が大人になった10年後、どんなまちになってほしいか等を議論											
「朝霞に住み続けるために」	朝霞市民だれでも	朝霞をもっと好きになる、住み続けるためにどんなことが必要か等を議論											
「朝霞の駅に必要なこと」	朝霞市民だれでも	市内の両駅に対して、駅前に望むことやそれに対して市民がどう関われるか等を議論											
総合計画との連携	<p>・総合計画でも1月にワークショップ「あさかの未来を話そう」を実施しているため、その結果も踏まえてテーマや運営方法の詳細を検討する。</p> <p>・総合計画で実施する分野別市民懇談会や青少年意見聴取と連携して企画内容を調整する。</p>												

26

## ■合意形成の手段

### 【④(仮)あさかまちづくりサロン 地域版】

項目	説明																				
目的	・地域ごとに住民が集い、地域のまちづくりについて話し合う場を設け、地域別構想に地域住民の意向を反映させることを目的とする。																				
実施内容	<p>【実施時期】R6年度後半～R7年前半</p> <p>【実施回数】ワークショップ各地域4回程度+各地域での自発的な活動は市が積極的にサポート</p> <p>【実施内容】例として下表のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>テーマの例</th> <th>概要</th> <th>開催方法(想定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>「地域の資源と課題をみつけよう！」(まちあるき)</td> <td>・参加者が地域を歩き、地域の資源(良いところ)と課題を洗い出す</td> <td>地域別開催</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>「地域のまちづくりの方向性」</td> <td>・現況データ等を参照しながら、地域の特性を理解し、まちづくりの方向性を議論</td> <td>地域別開催</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>「パイロットプロジェクト」</td> <td>・地域で優先的に取り組むべきプロジェクトを議論</td> <td>全地域合同開催</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>「発表会」</td> <td>・全地域が集まり、議論した内容を発表しあう</td> <td>全地域合同開催</td> </tr> </tbody> </table>	回数	テーマの例	概要	開催方法(想定)	第1回	「地域の資源と課題をみつけよう！」(まちあるき)	・参加者が地域を歩き、地域の資源(良いところ)と課題を洗い出す	地域別開催	第2回	「地域のまちづくりの方向性」	・現況データ等を参照しながら、地域の特性を理解し、まちづくりの方向性を議論	地域別開催	第3回	「パイロットプロジェクト」	・地域で優先的に取り組むべきプロジェクトを議論	全地域合同開催	第4回	「発表会」	・全地域が集まり、議論した内容を発表しあう	全地域合同開催
回数	テーマの例	概要	開催方法(想定)																		
第1回	「地域の資源と課題をみつけよう！」(まちあるき)	・参加者が地域を歩き、地域の資源(良いところ)と課題を洗い出す	地域別開催																		
第2回	「地域のまちづくりの方向性」	・現況データ等を参照しながら、地域の特性を理解し、まちづくりの方向性を議論	地域別開催																		
第3回	「パイロットプロジェクト」	・地域で優先的に取り組むべきプロジェクトを議論	全地域合同開催																		
第4回	「発表会」	・全地域が集まり、議論した内容を発表しあう	全地域合同開催																		
工夫点	<p>・他地域の議論内容も共有できるよう、2回程度は全地域合同開催を検討。</p> <p>・回を追うごとに議論が深まる内容としつつ、多くの方に参加いただけるよう、途中からでも参加しやすいテーマ設定等に留意する。継続で参加いただけるよう声掛けを行う。</p>																				

27



## ■合意形成の手段

### 【⑤オープンハウス】

項目	説明
目的	・素案段階のプランを閲覧し説明を受けられる場所を用意し、素案に対してコメントをいただき、必要に応じて反映する。
実施内容	【実施時期】R7年度中旬頃 【実施期間】数週間～1ヶ月程度 【展示方法】会場を設け、プランの概要版を記載したパネルを掲示するとともに必要に応じて来訪者に説明を行う。
工夫点	・説明動画を作成し、オープンハウス会場で流すとともにyoutube等でも公開する。 ・イベントにもブースを出展するなどして人目に触れる機会を増やす。

### 【⑥パブリックコメント】

項目	説明
目的	・プランの策定前段階で公表し、意見を募り、必要に応じて反映する。
実施内容	【実施時期】R7年11月頃 【実施期間】1ヶ月程度
工夫点	・説明動画を作成し、youtube等でも公開する。

28

## ■合意形成の手段

### 【⑦広報あさか・市ホームページを活用した策定経過報告や意見募集】

項目	説明
目的	・プラン策定過程や委員会資料をオープンにする。
実施内容	【実施期間】策定期間中継続実施(策定後も存続)
工夫点	・web上での意見聴取についても検討する。

例:朝霞市立地適正化計画の検討過程ページ

現在地 [トップページ](#) > [分類でさがす](#) > [市政情報](#) > [施策・計画](#) > [個別の計画\(都市整備分野\)](#) >> [朝霞市立地適正化計画](#) > [朝霞市立地適正化計画の検討過程](#)

### 朝霞市立地適正化計画の検討過程

印刷ページ表示 大きな文字で印刷ページ表示 記事ID:0137952 更新日:2023年3月24日更新

朝霞市立地適正化計画を策定しました。  
詳しくは以下のページをご覧ください。

朝霞市立地適正化計画

---

#### 朝霞市立地適正化計画 検討過程

令和5年1月30日 令和4年度第5回都市計画審議会で検討状況の報告と意見聴取を行いました

「議案第1号 立地適正化計画の策定について(意見聴取)」

令和4年度会議結果(都市計画審議会)

○日時  
令和5年1月30日(月曜日)午前10時から ※傍聴可

○場所  
朝霞市役所(大会議室手前)

○資料  
議案第1号

・ [【資料1】朝霞市立地適正化計画\(素案\) \[PDFファイル/7.01MB\]](#)

29



## 朝霞市都市計画マスタープラン【次期計画】の策定に向けたアンケート調査

## (1) 次期計画策定に向けて現況を把握する項目

- ・次期計画策定に向けた以下の現況把握項目のうち、統計データや市が所有しているデータ等から把握できない項目は「市民意識の変化」である。
- ・そのうち、現在並行して検討が進められている総合計画の策定に向けたアンケート調査「市民意識調査」では確認できていない『暮らしとまちの関係』を把握することを本アンケートの目的とする。

## ■次期計画策定に向けて現況を把握する項目

大項目	小項目	現況を把握する資料等
(1) 位置及び自然的条件	朝霞市の位置	国土数値情報、市所有資料
	地形・自然条件	市所有資料
(2) 人口・世帯の状況	人口・世帯数の推移	国勢調査
	年齢別人口動向	国勢調査
	年齢別人口割合の比較	国勢調査
	人口動態（自然増減、社会増減）	統計あさか
	通勤・通学流動	国勢調査
	小地域別の人口増減、人口密度、高齢化率	国勢調査
	将来人口の見通し	社会保障・人口問題研究所
(3) 土地利用	人口集中地区の推移	国勢調査
	都市計画区域等	都市計画基礎調査
	用途地域	統計あさか
	土地利用現況	都市計画基礎調査
	低未利用地の分布	都市計画基礎調査
	農地及び工場跡地の転用状況	統計あさか、都市計画基礎調査
(4) 交通体系	公共交通の状況	公共交通事業者及び市所有資料
	鉄道・バスの利用者数	統計あさか
	シェアサイクルの利用状況	運用事業者（市所有資料）
	代表交通手段	パーソントリップ調査
(5) 産業動向	産業大分類別就業人口の推移	国勢調査
	農家数、農業就業人口、経営耕作面積の推移	統計あさか
	製造業の動向	工業統計調査、経済センサス
	商業の動向	商業統計調査、経済センサス
	各種都市機能の分布	市所有資料（立地適正化計画）
(6) 市街化動向	市街地開発事業	市所有資料
(7) 都市基盤整備	都市計画道路の状況	市所有資料
	都市公園の状況	市所有資料
	公共下水道の整備状況	市所有資料
(8) 防災	各種ハザードマップ	市所有資料
(9) 財政	財政力指数	地方公共団体の主要財政力指標
	歳入・歳出の推移	市所有資料
	公共施設の更新・改修費の試算	市所有資料
(10) 市民意識の変化	定住意向	市民意識調査（総合計画）
	<b>暮らしとまちとの関係（現況・ニーズ）</b>	<b>統計データ等からは把握できない</b>
	まちづくりの魅力・課題	市民意識調査（総合計画）
	今後のまちづくりの方向性	市民意識調査（総合計画）
(11) 主な事業・施策の進捗	市民参加の意識	市民意識調査（総合計画）
		市所有資料

(2) 「暮らしとまちの関係（現況・ニーズ）」を確認するためのアンケート項目の検討

・市民の暮らし方の実態と 20 年後を見据えたニーズを把握するため、以下のアンケート項目を設定する。

■ 「暮らしとまちの関係（現行・ニーズ）」を確認するためのアンケート項目

項目	具体的な内容
1. 回答者について	<p>○性別、年齢、職業、居住地について</p> <p>○家族構成について</p> <p>○居住の種類について</p> <p>○居住年数について</p>
2. 現状の暮らしについて	<p>○現状の住まいを選択した理由</p> <p>【選択肢（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都心へのアクセスが良いため</li> <li>・公共交通が充実しているため</li> <li>・通勤・通学がしやすいため</li> <li>・実家が近い</li> <li>・公共サービスが充実しているため</li> <li>・子育てがしやすい</li> </ul> <p>等</p>
	<p>○日常生活の行動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日と休日における、日常生活での「主な行き先」と、その際の「主な交通手段」を確認する</li> <li>・例えば、通勤・通学、日用品の買い物、非日用品の買い物</li> </ul> <p>等</p>
	<p>○朝霞らしい場所や風景について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者が考える朝霞らしい場所や風景を確認する。</li> <li>・例えば、駅周辺のまちなみや黒目川、シンボルロードの風景等</li> </ul>
3. 20 年後の暮らしに対するニーズ	<p>○20 年後に住みたい場所とその理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者が 20 年後、どの地域・場所に住んでいきたいかのそのニーズと理由を確認する</li> </ul> <p>【選択肢（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝霞市内（5 地域 + 駅周辺）</li> <li>・東京 23 区内</li> <li>・東京 23 区以外の都内</li> <li>・さいたま市</li> <li>・和光市</li> <li>・新座市</li> <li>・志木市</li> <li>・戸田市</li> <li>・その他埼玉県内</li> <li>・神奈川県や千葉県</li> </ul>
	<p>○20 年後までに期待する駅周辺の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者が 20 年後までに期待する駅周辺の変化を確認する</li> </ul> <p>【選択肢（案）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食料品や日用品をそろえることができるなど、日常生活が利便性の高い駅前</li> <li>・交通結節点として、駅へのアクセスや公共交通の乗り継ぎ等の交通利便性がより高い駅前</li> <li>・行政サービスがより充実した駅前</li> <li>・医療・福祉サービスが充実した駅前</li> </ul> <p>等</p>

(参考) 他都市における都市計画マスタープラン策定に向けたアンケート調査の項目

○戸田市都市マスタープラン策定に向けたアンケート調査の項目

1. ご回答者様について
  - ・性別／年齢／居住地／居住年数／家族構成／出身地／よく利用する鉄道駅／鉄道駅までの交通手段
2. 戸田市のこれまでの10年間を振り返って
  - ・施策に対する満足度
3. 戸田市の交通について
  - ・鉄道、路線バス、コミュニティバス、自転車に対する満足度と改善点
4. 戸田市のまちづくりについて
  - ・分野別の施策に対する満足度と重要度
5. お住まいの地域周辺のまちづくりについて
  - ・分野別の施策に対する満足度と重要度
6. 戸田市で大事にしたいもの・好きなもの
  - ・施設や行事等に対して、特に大事にしたいもの・好きなものの把握
7. まちづくりへの参加機会について
  - ・市民がまちづくりに参加することの必要性和参加の意向確認
8. あなたとまちの将来について
  - ・健康や生活環境、子育て、防災など将来のまちに対する関心処の把握
9. 戸田市の将来について
  - ・将来のまちづくりの方向性
10. 新型コロナウイルス感染症による生活の変化について
  - ・コロナを契機とした、今後起こりうる生活の変化の把握
11. 戸田市の取り組みについて
  - ・市の取り組みに対して、特に進めてほしい取り組みの意向把握

○和光市都市マスタープラン策定に向けたアンケート調査の項目

1. あなたご自身のことについて
  - ・性別／年齢／家族構成／職業／住んでいる地域の小学校区／住宅の形態・種類／通勤・通学の場所／通勤・通学の時間／通勤・通学の手段
2. 定住意識について
  - ・居住年数／定住の意向／その理由
3. お住まいの地域の生活環境について
  - ・住んでいる地域の生活環境に対する満足度
4. 現在の和光市全体の魅力や課題について
  - ・和光市に対するイメージ／魅力／土地利用上の問題
5. 和光市の今後のまちづくりについて
  - ・将来のまちづくりの方向性／施策に対する重要度／道路・交通環境に対する取組の重要度／公園・緑地に対する取組の重要度／災害に強いまちづくりに対する施策の重要度／現在取り組んでいることに対する期待度

6. 新型コロナウイルス感染症拡大前との比較
  - ・ 仕事や学業と生活のどちらを重視したいかに対する意識の変化
  - ・ 過ごし方や移動に関する時間や頻度などの変化の度合い
  - ・ 災害時（自身・水害など）の避難行動
7. 市民参加のまちづくりについて
  - ・ 市民と行政が協働でまちづくりを進めるために必要なもの

○小田原市都市マスタープラン策定に向けたアンケート調査の項目

1. あなたご自身について
  - ・ 性別／年齢／職業／居住地／家族構成／住宅の種類／居住年数
2. 暮らしや生活環境について
  - ・ 小田原市での暮らしや生活環境について、特に良いと思うもの
  - ・ 居住地の周辺環境の変化（人の数、土地、建物、公共施設）
  - ・ 日常生活での行動（行き先と交通手段）
3. 将来のまちのあり方について
  - ・ 概ね 10～20 年後、どのようなまちになれば良いと考えているか
  - ・ 今後のまちづくりにおいて重視すべきこと
  - ・ 今後の「新たな生活様式」を見据えた、小田原市のまちづくりのあり方
4. 土地利用のあり方について
  - ・ 住宅地、商業地、工業地、農地、駅周辺のまちづくりにおける取組の重要性
5. 生活を支える公共施設（道路、公園、公共交通）について
  - ・ 道路、公園・緑地の整備における重視すべきこと
  - ・ 公共交通（鉄道・バス等）の将来的なあり方
6. 環境・景観・防災について
  - ・ 環境保全や環境負荷低減に関する取組の重要性
  - ・ 景観、防災まちづくりの取組の方向性
7. まちづくりに対するお考えについて
  - ・ 今後小田原市が向かうべき将来のまちづくりの方向性

朝霞市都市計画マスタープランの次期計画策定に係る

# 市民アンケート調査

## アンケート調査へのご協力をお願い

日頃から市政に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、まちづくりの指針となる「朝霞市都市計画マスタープラン」の改定作業を進めております。

令和8年度からの次期計画は、より市民の暮らしに寄り添った計画とするため、皆さんの「暮らし方（活動）」と「住まい方」について、現在の状況や将来のニーズをお伺いしたいと考えています。

お忙しいところ、ご面倒をおかけいたしますが、調査の趣旨にご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

なお、この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に抽出し、お送りしています。ご回答はすべて統計的に処理しますので、回答者が特定されることはありません。

令和6年〇月 朝霞市

### ご回答にあたってのお願い

- 質問へのご回答は、宛名にあるご本人がお答えください。
- ご回答は本調査票に直接ご記入いただく方法と、Web上で回答する方法のどちらかから選択できます。（経費削減のため、Webによる回答にご協力をお願いします。）

#### 【本調査票により回答する場合】

- 当てはまる項目について、直接調査票に○印を付けてください。当てはまる項目がない場合は、「その他」の番号に○印を付けて、（ ）内にその内容等についてご記入ください。
- 回答時間の目安は●●分程度です。
- ご記入いただいた調査票は、令和6年（2024年）●月●日（●）までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
- 調査票や返信用封筒にお名前やご住所を書いていただく必要はありません。返信の際は「調査票」のみ封筒に入れてください。

#### 【Web回答について】

- 回答は、Webからも行うことができます。希望される方は、以下の二次元コードまたはURL（・・・・・・・・・・）から本調査専用サイトにアクセスし、ご回答ください。
- お使いの端末により、回答途中で進めなくなる場合があります。その場合は、大変お手数ですが、調査票にご記入の上、返信くださいますようお願いいたします。
- Web回答の回答期限は、令和6年（2024年）●月●日（●）までとなります。

（問い合わせ先）朝霞市役所 都市建設部 まちづくり推進課

TEL:048-463-2518(直通) E-mail:mati\_zukuri@city.asaka.lg.jp



# 1. あなたご自身について

令和6年（2024年）1月1日時点でお答えください

問1 次のうち当てはまる選択肢の番号に○印を付けてください。

## ① 性別・年齢・職業・居住地について

(1)性別	1 男性	2 女性	3 回答しない
(2)年齢	1 20歳未満	2 20～29歳	3 30～39歳
	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳
	7 70～79歳	8 80～89歳	9 90歳以上
(3)職業	1 農業	2 自営業・フリーランス	
	3 会社員・団体職員	4 会社や団体の役員・経営者	
	5 公務員	6 教育職・研究職	
	7 派遣社員	8 パート・アルバイト・内職	
	9 専業主婦・専業主夫	10 学生	
	11 無職	12 その他（	）
(4)居住地	1 青葉台（1丁目）	2 朝志ヶ丘（1～4丁目）	
	3 大字上内間木	4 大字下内間木	
	5 大字台	6 大字根岸	
	7 岡（1～3丁目、大字含む）	8 北原（1～2丁目）	
	9 幸町（1～3丁目）	10 栄町（1～5丁目）	
	11 泉水（1～3丁目）	12 田島（1～2丁目、大字含む）	
	13 仲町（1～2丁目）	14 西原（1～2丁目）	
	15 西弁財（1～2丁目）	16 根岸台（1～8丁目）	
	17 浜崎（1～4丁目、大字含む）	18 東弁財（1～3丁目）	
	19 膝折町（1～5丁目）	20 本町（1～3丁目）	
	21 溝沼（1～7丁目、大字含む）	22 三原（1～5丁目）	
	23 宮戸（1～4丁目、大字含む）	24 陸上自衛隊朝霞駐屯地	

## ② 家族構成について

1 単身	2 夫婦のみ	3 親と子（2世代）
4 親と子と孫（3世代）	5 その他（	）

## ③ 朝霞市での居住年数について

1 5年未満	2 5～9年	3 10～19年
3 20～29年	4 30年以上	



## 2. 暮らし方の状況とニーズについて

問2 日常生活のあるシーンにおける「主な行き先」と、その際の「主な交通手段」、「行動の頻度」について、あなたの行動に当てはまるものを末尾にある選択肢の番号・記号から1つずつ選択し回答欄に記入してください。

※「行動の頻度」は平日のシーンのみ回答をお願いします。

※回答欄（1）「主な行き先」で「行かない」を選択した場合、回答欄（2）「主な交通手段」及び（3）「活動の頻度」は未記入で構いません。

日常生活におけるあるシーン		「主な行き先」 回答欄（1）」	「主な交通手段」 回答欄（2）」	「行動の頻度」 回答欄（3）」
平日	あなたの通勤・通学先はどこですか？			
	あなたは平日に食料品や日用品の買物をどこでしていますか？			
	あなたは平日に外食をするとしたら、主にどこで食事をとりたいと思いますか？			
	あなたが体調を崩したときや検診を受けるとき、どこの病院・診療所にかかりますか？			
休日	あなたが休日に食料品や日用品を購入するとしたら、主にどこで買い物をしようと思いますか？			
	あなたが休日に日用品以外（自分の洋服や誰かへの贈り物等）を購入しようとしたら、主にどこで買い物をしようと思いますか？			
	あなたが家族や友人と外食をするとしたら、主にどこで食事をとりたいと思いますか？			
	あなたが映画などを見に行くとしたら、主にどこで見たいと思いますか？			
	あなたが体を動かしたい、外に出たいという気分になったとしたら、主にどこへ行きたいと思いますか？			
	あなたが一人でのんびりしたいという気分になったときに、主にどこへ行きたいと思いますか？			

【「主な行き先」の選択肢】

- |                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1 市内（自宅から徒歩・自転車で移動できる範囲 ※2, 3の駅周辺を除く） |                    |
| 2 市内（朝霞駅周辺、市役所周辺）                     | 3 市内（北朝霞・朝霞台駅周辺）   |
| 4 市内（くみまちモールやその周辺）                    | 5 市内（その他）          |
| 6 志木市・新座市・和光市                         | 7 さいたま市            |
| 8 その他埼玉県内                             | 9 都内（23区）          |
| 10 都内（23区以外）                          | 11 首都圏（東京・埼玉以外）    |
| 12 行かない                               | 13 自宅（インターネット利用含む） |
| 14 その他                                |                    |

【「主な交通手段」の選択肢】

- |      |              |       |
|------|--------------|-------|
| A 徒歩 | B 自転車        | C 鉄道  |
| D バス | E 自家用車・オートバイ | F その他 |

※「主な交通手段」を上記の選択肢から1つを選択し回答欄に記入してください。しかし、目的地まで複数の交通手段を利用する場合は、以下の回答例を参考にご回答ください。

【例1】 目的地まで「徒歩」と「バス」、「鉄道」を利用する場合、代表交通手段として『鉄道』と回答してください。

【例2】 目的地まで「自転車」と「鉄道」を利用する場合、代表交通手段として『鉄道』と回答してください。

【例3】 目的地まで「徒歩」と「バス」を利用する場合、代表交通手段として『バス』と回答してください。

【「行動の頻度」の選択肢】

- |            |              |            |
|------------|--------------|------------|
| a 平日のほぼ毎日  | b 週に2、3回程度   | c 週に1回程度   |
| d 月に1～2回程度 | e 2～3か月に1回程度 | f 年に1～2回程度 |
| g ほとんどしない  |              |            |



問5 朝霞市内のうち、お住まいの近くや駅周辺等のエリアで、自宅や職場以外で過ごす場所として、どのような場所があるといいと思いますか？  
 それぞれのエリアについて、末尾にある選択肢から3つまで選択し回答欄に記入してください。  
 末尾の選択肢に該当する項目がない場合は、あなたが思う場所を回答欄に直接記入してください。

エリア	【回答欄】あるといい場所
お住まいの近くの地域	
朝霞駅周辺	
朝霞台・北朝霞駅周辺	

【「あるといい場所」の選択肢】

- |                                 |                             |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1 買い物ができる場所（スーパーやコンビニ等）         |                             |
| 2 買い物ができる場所（デパートや大規模なショッピングモール） |                             |
| 3 買い物ができる場所（個店が集まる商店街）          | 4 飲食ができる場所                  |
| 5 体育館や運動場                       | 6 公園や広場                     |
| 7 緑が多く自然が豊かな場所                  | 8 イベント等が開催されるオープンスペース       |
| 9 子供から高齢者まで多世代が触れ合える場所          |                             |
| 10 子供が安心して遊べる場所                 | 11 子育て・福祉等公共サービスが相談・利用できる場所 |
| 12 町内会やサークルの活動ができる場所            | 13 静かに勉強やテレワークができる場所        |
| 14 音楽鑑賞、芸術鑑賞等ができる場所             | 15 講習や講演会等学びが得られる場所         |
| 16 分からない                        |                             |

### 3. 住まい方の状況とニーズについて

問6 現在の居住形態について、当てはまる選択肢の番号に○印をつけてください。

1 一戸建ての持ち家	2 分譲マンション
3 一戸建ての借家	4 賃貸集合住宅（マンション・アパート等）
5 社宅・寮等	6 その他（ ）

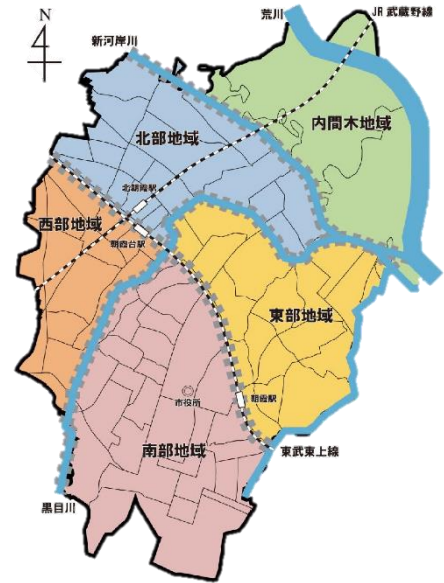
問7 現在住んでいる場所を選んだ理由について、当てはまる選択肢の番号に ○印をつけてください（複数選択可）。以下の項目に当てはまるものがない場合は、「その他」に○印をつけ、（ ）内に理由を記載してください。

1 代々住み続けているため	2 買い物等日常生活の利便性が良いため
3 実家が近いため、同居しているため	4 通勤・通学に便利のため
5 都心へのアクセスが良いため	6 近くの公共交通（バス等）が充実しているため
7 子育て環境がよいため	8 福祉等の公共サービスが充実しているため
9 公共施設（公民館、図書館等）が充実しているため	
10 自然や農地等豊かな緑があるため	11 まちなみ等の景観が良いため
12 住宅の条件が合致したため（価格や間取り等）	
13 治安が良いため	14 友人や親戚が住んでいるため
15 近隣との付き合い、コミュニティがあるため	
16 都会的な楽しさや魅力が多いため	17 まちのイメージ・ブランドが良いため
18 その他（ ）	

問8 今後あなたが引越をするとした場合、あなたが住みたいと思う場所および住居の形態と、その選択肢を選ぶ際に重視した観点について、当てはまるものを末尾にある選択肢の番号から1つずつ選択し○印をつけてください。当てはまるものがない場合は、その他の番号に○印をつけ、( )内に場所や住居の形態、重視した観点を記載してください。

【「場所」の選択肢】

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1 今の場所に住み続ける       | 2 市内（朝霞駅周辺）  |
| 3 市内（朝霞台・北朝霞駅周辺）   | 4 市内（内間木地域）  |
| 5 市内（北部地域）※駅周辺除く   |              |
| 6 市内（東部地域）※駅周辺除く   |              |
| 7 市内（西部地域）※駅周辺除く   |              |
| 8 市内（南部地域）※駅周辺除く   |              |
| 9 都内（23区）          | 10 都内（23区以外） |
| 11 志木市・新座市・和光市     |              |
| 12 さいたま市           | 13 その他埼玉県内   |
| 14 その他首都圏（東京・埼玉以外） |              |
| 15 その他国内（首都圏外）     |              |
| 16 その他（            | ）            |



【「住居の形態」の選択肢】

- |            |                       |
|------------|-----------------------|
| 1 一戸建ての持ち家 | 2 分譲マンション             |
| 3 一戸建ての借家  | 4 賃貸集合住宅（マンション・アパート等） |
| 5 社宅・寮等    | 6 介護・医療サービス等が受けられる施設  |
| 7 その他（     | ）                     |

【「重視した観点」の選択肢】

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1 代々住み続けていること           | 2 買い物等日常生活の利便性が良いこと |
| 3 実家の近さ、家族と同居できること      | 4 通勤・通学に便利なこと       |
| 5 都心へのアクセスが良いこと         | 6 近くの公共交通（バス等）の利便性  |
| 7 子育て環境のよさ              | 8 福祉等の公共サービスの充実     |
| 9 公共施設（公民館、図書館等）の充実     | 10 自然や農地等の豊かな緑があること |
| 11 まちなみ等の景観の良さ          | 12 住宅の条件（価格や間取り等）   |
| 13 治安の良さ                | 14 友人や親戚が住んでいること    |
| 15 近隣との付き合い、コミュニティがあること |                     |
| 16 都会的な楽しさや魅力が多いこと      | 17 まちのイメージ・ブランド     |
| 18 その他（                 | ）                   |

#### 4. ご意見など

朝霞市のまちづくりに関するご意見などありましたら、ご記入ください。

以上で、質問はすべて終了です。ご協力いただきありがとうございました。

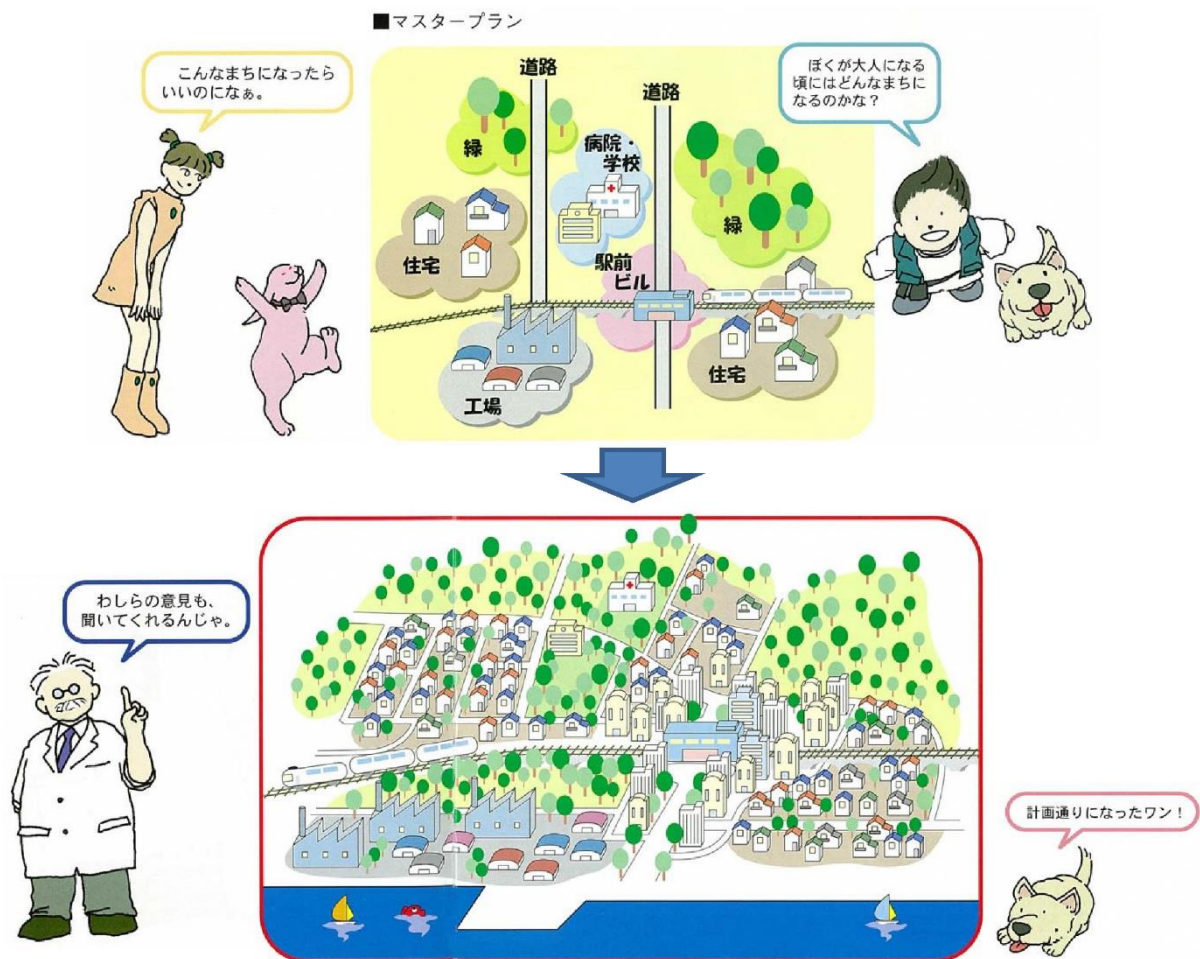
## 都市計画マスタープランとは

市民の皆さんや事業者の方々が快適でかつ便利な生活をしていくためには、道路・公園・下水道といった身近な公共施設や、工業・商業・住宅等の土地の使い方や建物の建て方のルールを定め、計画的に整備していくことが必要です。

このように、まちをつくるためには必要な事柄を定めたものが「都市計画」であり、市民の意見を踏まえた都市計画の基本的な方針を定めたものが「都市計画マスタープラン」です。

都市計画マスタープランでは、概ね 20 年後の望ましい都市を考え、市域全体の目指す将来像と都市整備の方針を示した「全体構想」と、地域別の整備方針を示した「地域別構想」で構成されています。

朝霞市の都市計画マスタープランは、平成 17 年 3 月に当初計画を策定し、その後社会・経済状況や市民ニーズの変化などをふまえて平成 28 年 11 月に見直しを行ってききましたが、令和 7 年に目標年次を迎え、次期計画の策定に向けた作業を現在進めています。



イラスト：みんなで進めるまちづくりの話  
(国土交通省 都市局 都市計画課)